ＮＰＯ国境なき技師団活動報告①
防災教育支援

2007.3.16

危機管理対策アドバイザー　国崎信江

海外編　　活動実施日　2005年4月13日～16日

インドネシアスマトラ島での～子どもへの防災教育～

防災ソングで伝える

防災紙芝居で伝える

小･中･高校での教育内容

- 地震と津波発生の仕組み
- ビデオ上映（稲村の火）
- 絵本読み聞かせ（あ、じしん）
- 紙芝居読み聞かせ（地震になんて負けないよ）
- 防災ソング合唱
- 地震や津波に対する質疑応答

バンダアチェの子どもたちの被災体験の劇

演じる子どもの後ろで泣く子ども

あの時感じたことを体験したこと

を心の叫びとして表現した

多くのメディアに紹介される

被災児に「防災教室」

インドネシア・バンダアチェ

日本のアニメ使って説明

ACEH

Lensa

BERCENGKARAMA : Staf ahli Menteri Pendidikan Jepang Ms Nobue Kuniseki sedang bercengkrama dengan pelajar SD di Banda Aceh.

LIHAT GAMBAR : pelajar SD di Banda Aceh sedang melihat gambar peta bumi dan gempa setelah mendapat paparan dari staf ahli gempa dari Jepang.

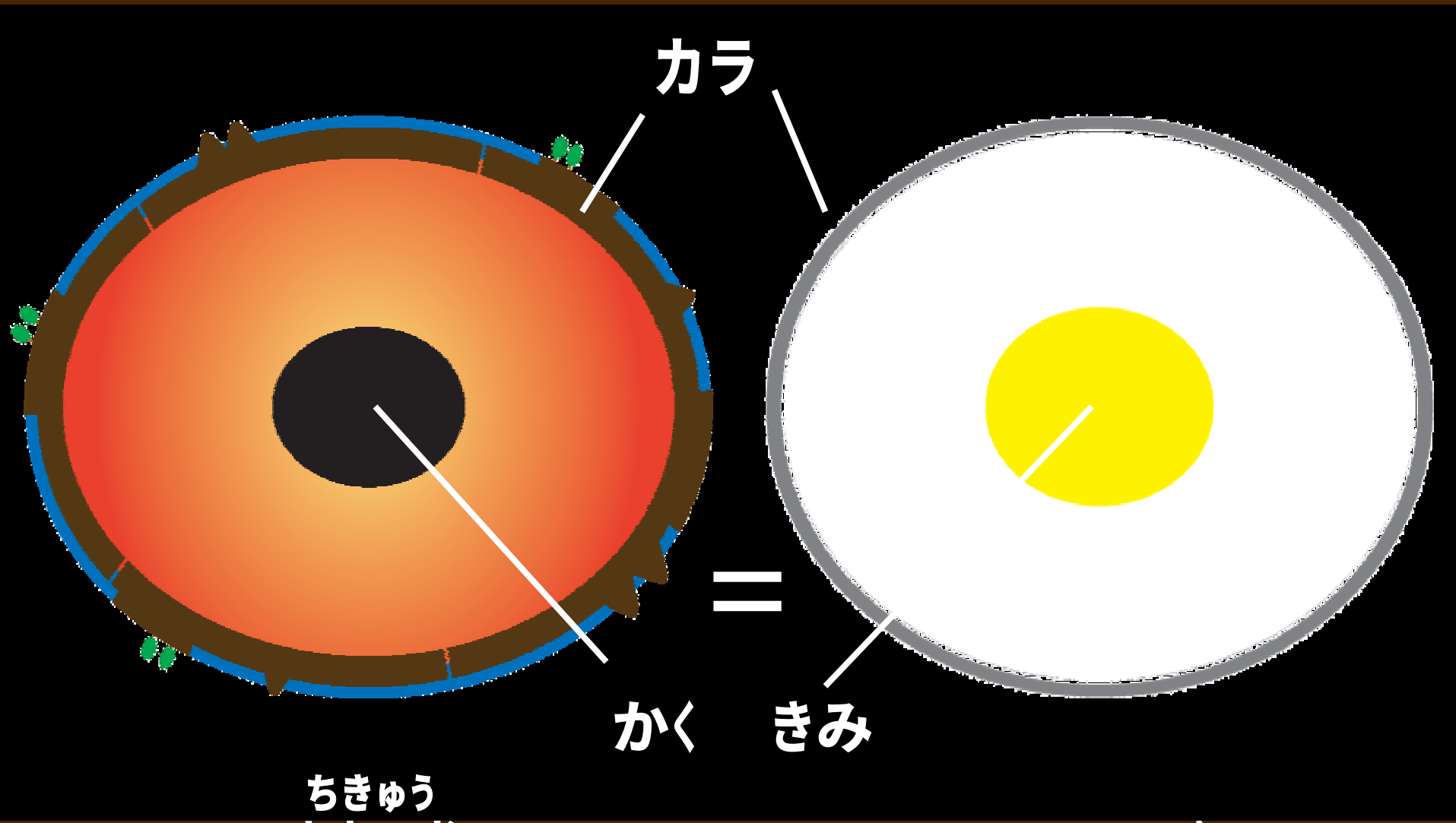
早稲田と京大の学生から
バンダアチェの子ども達へ

2005年９月１１日～16日

インドネシア語で伝える授業

積極的に答えを出す子ども

地球のなかみ



ちきゅう
地球　　たまご

地球には、たくさんのヒビがはいってるんだ。

プレート①
プレート②
じしんは、プレートがぶつかって起こるんだ。

とつぜんですが、しつ問です！

しつもん１

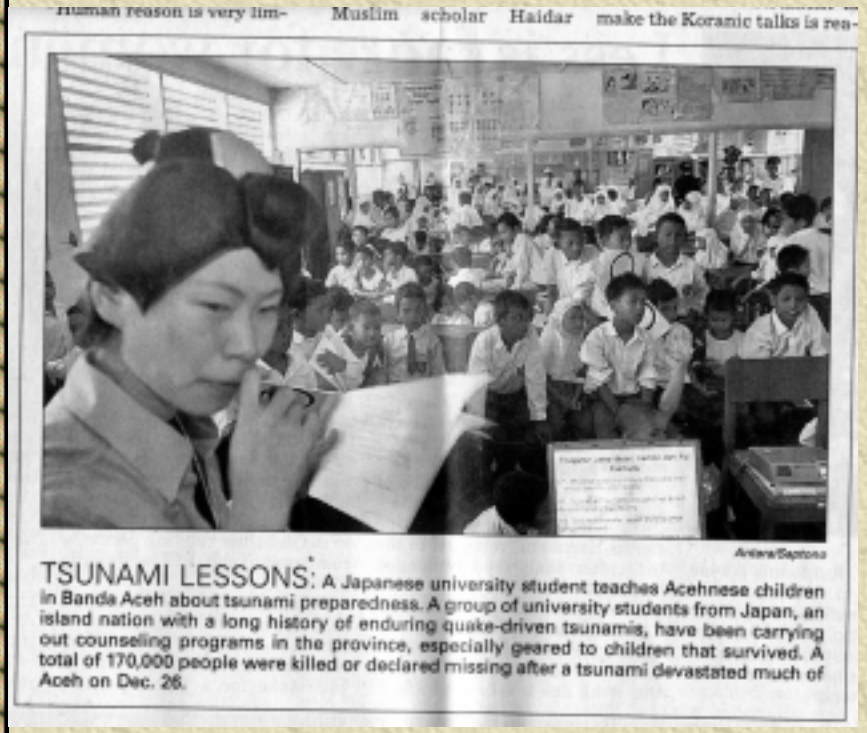
つなみのはやさは、海のふかさ4000mでは、
どのくらいはやいでしょう？正しいのをえらんでね

①

②

③

多くのメディアに紹介される



Human reason is very lim- Muslim scholar Haidar make the Koranic talks is rea-

Antara/Sapiono

TSUNAMI LESSONS: A Japanese university student teaches Acehnese children in Banda Aceh about tsunami preparedness. A group of university students from Japan, an island nation with a long history of enduring quake-driven tsunamis, have been carrying out counseling programs in the province, especially geared to children that survived. A total of 170,000 people were killed or declared missing after a tsunami devastated much of Aceh on Dec. 26.

朝日新聞

日本の大学生 防災出前教室

アチェ

【バンダアチェ（インドネシア・スマトラ島）＝藤谷健】昨年末のスマトラ沖大地震・津波で大きな被害を受けたインドネシア・アチェ地域の子どもたちに地震や津波の知識を教え、今後の防災に役立ててもらおうと、日本の大学生が14日までの3日間、バンダアチェの小中学校などで防災教室を開いた。

授業をしたのは早稲田大理工学部と京都大工学部の学部・大学院生17人。それぞれの指導教官が今年4月に現地で防災授業を開いたことを受けて「ぜひ自分たちも」と自主的にグループを結成した。バンダアチェの第19中学校で14日午後行った授業では、早大大学院の板井啓樹さん(22)ら4人が手づくりの教材を交えながら、地震や津波の起きる仕組みなどを分かりやすく説明した。

バンダアチェ市内の中学校で、防災授業を開く日本の大学生たち＝14日午後、戸村登撮影

大学生の防災教育支援会発足

- 早稲田大学　WASEND
- 京都大学　KIDS

国内外の防災教育が必要とされている場所で、災害や防災に関する知識を伝える活動を行う。一方的に伝えるだけではなく、子供達と年齢の近い学生が、共に学び、遊び交流を深め、コミュニケーションをとりながら、楽しく防災教育活を行う。

防災教育の課題

- 一過性の学習、形式的な訓練でない展開
- 自助力（知識・技術の習得）

⇒自分で判断し、守り、生き抜く力を養う

- 共助力（地域の一員としての意識）

⇒リーダシップの育成、人と人とのつながりを大切にする活動

- 指導者の育成
- カリキュラム・教材の開発
- 導入の手法
- 防災教育のネットワークづくり

なぜネットワーク作りか？

- 情報共有
- 教材共有
- アイデアの共有
- 点から線、線から面へ防災活動の活性化
  （活動の連携）

防災教育支援の今後の展開

- 世界で被災した子供達の声を集めることを今年のEWBJ防災教育部の主要な活動と位置づける。
- 国際組織とのネットワークづくり
  SNS国際防災支援センター、
  CODE海外災害援助市民センター
  国際防災人道支援協議会

ご聴講ありがとうございました。

EWB－JAPAN　理事　国崎信江
http://www.kunizakinobue.com/